

地方都市視察報告書

福祉健康委員会

1 実施日

平成27年10月16日（金）

2 視察地 大阪府堺市

【市の概要】

(1)面積 149.81km²

(2)人口・世帯数（平成27年9月1日現在）

人口 838,397人

世帯数 356,336世帯



(3)概要

堺市周辺に人が定住し始めたのは旧石器時代のころ。市内の遺跡からは、約1万年前の打製石器や、縄文時代の土器・石器、弥生時代の銅鐸・土器などが発掘されている。4から5世紀には大和朝廷が成立したが、堺には仁徳天皇陵古墳をはじめ、100数基から成る百舌鳥古墳群が造られた。

平安時代、この地が摂津・河内・和泉の3国の境に位置しているところから「さかい」と呼ばれるようになった。

鎌倉時代には漁港として発達し、その後西日本の海運の拠点として発展。そして戦国時代、堺は貿易港として黄金の時代を迎える。この時代、堺は、対明貿易や南蛮貿易など海外との交流拠点として発展、当時の堺は世界でも珍しい環濠都市を形成し、自治都市として繁栄した。

明治以後、近代工業の発展、人口の増大、市域の拡大、交通の発達など、急速に近代化が進み、今日も力強い発展を続けている。

3 視察項目・内容

(1)自殺対策強化プランについて

4 視察参加者

【委員】

野もとあきとし委員長 桑原羊平副委員長 木もとひろゆき委員

小野 裕次郎委員 志田 雄一郎委員 吉住 はるお委員

沢田 あゆみ委員

【随行】

議会事務局議事係 濱野 智子

5 視察結果・所感

大阪府堺市では、平成 21 年 4 月に「いのちの応援係」を設置し、常勤の精神保健福祉士 4 名、非常勤の臨床心理士 1 名、警察 O B 1 名の体制で取り組みを行っている。いのちの応援係では、毎月 1 回のケース会議を開き、「普及啓発」や「自殺未遂者の相談支援」、「ゲートキーパーの養成」、「職域連携」など、警察及び消防、救急医療機関と連携し支援を行っている。なかでも、自殺未遂者支援など、ハイリスクの人々に対する取り組みに力を入れている。

また、いのちの応援係では、『「自殺」をめぐる人権について』の DVD を作成し、普及啓発に取り組んでおり、自殺対策を人権問題と捉えて、独自の切り口で推進している。

新宿区では、若者の自殺率が高いところに特徴があり、若者専門部会を設置しているが、今後は警察や消防などの関係機関を含めたネットワークを強めることが大切である。

今回の視察は、今後の新宿区における自殺対策を推進する上で、大変参考となる視察であった。

6 主な質疑項目

- (1) 市と消防署の連携について
- (2) 救急隊員が携帯し配付しているリーフレットの内容について
- (3) 「いのちの応援係」を設置した経緯と職員の配置について
- (4) 子どもの自殺防止の取り組みについて
- (5) 自殺の原因や背景を検証し防止策を検討する会議等の設置について
- (6) きめ細やかな対応をしている上でのスタッフ体制の充実について

7 その他

【共同視察者】健康部健康推進課長 中川 誠一
健康部健康企画・歯科保健担当副参事 矢澤 正人

